

# 西海ブロック水産業情報

NO. 93 (平成28年4月～6月)

## 増養殖情報

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
	<p>○筑前海(沿岸・沖合) 今漁期のフトモズク養殖生産量は6.0トンで、前年比の約3倍と好調であった。網を洗浄している組合は好調であったが、洗浄していない組合では他の海藻が繁殖し不調であった。</p> <p>○有明海 (ノリ養殖)カキ殻系状態培養は、開始から3ヶ月が経過した。概ね順調。6/24に糸状体情報を発信。 (栽培関係)ガザミの種苗生産状況が昨年に比べ良く、中間育成も順調に終了。 (アサリ資源管理)保護区の一部解除に伴い、6月に漁連主導で3日間の集出荷が行われた。</p> <p>○豊前海 【カキ養殖】 ・魚類による食害対策を実施中。被害は軽微。成長、生残とも良好に推移。 ・一部のカキ養殖業者が自家採苗を実施予定。研究所で浮遊幼生調査を実施中。 【栽培関連】 ・クルマエビ及びガザミの中間育成を実施。 ・「かぐや装置」によるアサリ稚貝生産、干潟での放流試験を実施中。 【資源管理】 ・5月1日から、抱卵ガザミの再放流を実施。</p>	<p>○有明海 ・マガキ養殖 平成28年度は、宮城県産の種カキを4月下旬から5月中旬まで抑制飼育し、沖合の22基の筏へと移して養殖を開始した。</p> <p>○玄海 ・カサコ:5月中旬から6月中旬に中間育成用約15万尾(45mmサイズ)配布済。 ・アカウニ:4月上旬から6月中旬に放流用約30万個(10mmサイズ)配布済。 ・クロアワビ:平成26年度産:4月上旬から5月中旬に流用約1.5万個(30mmサイズ)配布済。 平成27年度産:殻長10～15mm 約21万個飼育中。 ・ナマコ:アオナマコ約130万個、アカナコ約80万個飼育中。7月上旬より約105万個(10～20mmサイズ)配布予定。</p>		<p>・約30g以下で導入した比較的小型のモジャコの約1割～6割がペコ病に感染しており、感染した魚はワクチン接種時に取り上げている。</p> <p>・例年と比較して、マダイでのピブリオ病発生による被害が多いと推察される。</p>

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県
<p>・スジアラ種苗生産:6月に採卵し、種苗生産中 ・イワガキ種苗生産:6月に採卵し、種苗生産中 ・4月上旬に鹿児島湾でProrocentrum balticum、Noctiluca scintillans(2件)、Prorocentrum dentatum、4月下旬～5月中旬に八代海でAkashiwo sanguinea、5月に鹿児島湾奥部でHeterosigma akashiwo、6月中旬に八代海でMyrionecta rubra(単独赤潮とCochlodinium polykrikoidesとの混合が各1件)による赤潮が発生したが、漁業被害はなかった。</p>	<p>○平成27年度に養殖シマアジから分離された新型レンサ球菌症原因菌Streptococcus dysgalactiaeのシマアジに対する病原性評価を実施した。約12gの供試魚に対して10<sup>6</sup>、10<sup>7</sup>CFU/尾の菌濃度で腹腔内接種し、2週間の攻撃試験を行った結果、同分離株のシマアジに対するLD50は4.6×10<sup>6</sup>.5CFU/尾となり、シマアジに対して一定の病原性を有することがわかった。</p>		